

座間市市民協働課  
平成 25.2.19 受付  
第 号

座間市相互提案型協働事業実施報告書

平成25年 2月19日

(宛先)座間市長

団体 住 所 座間市緑ヶ丘2-18-27

名 称 座間市写真連盟

代表者氏名 尾崎 忠夫



市 担 当 課 生涯学習課

所 属 長 梅田 稔



次のとおり報告します。

1 事業名	ごま再発見写真コンテスト
2 事業形態	<input type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選考年度	平成24年度選考 (平成24年度実施)
4 報告期間	平成24年5月1日 から 平成25年2月19日 まで
5 事業費	110,000円 (内座間市支出分 100,000円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は別紙、事業詳細に御記入ください。	写真コンテスト・写真展の開催 具体的には実行委員会を組織していただき、写真の応募要項の作成、審査員の選定、用具の発注と、会場設営、表彰式事務などを行う。
5 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input checked="" type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input checked="" type="checkbox"/> その他(アンケート集計表、来場者数等報告書)

相互提案型協働事業評価シート

事業名	ごま再発見写真コンテスト
-----	--------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	70%	90%
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出品者、出品点数は昨年に比べ減少したが、来場者は100人程度増加した 本年度 出品者数47人、作品点数274枚、来場者数624人（昨年度出品者数60名、作品点数420枚、来場者数523人）</li> <li>・8回行ったことで定着したことがうかがえる</li> <li>・審査員を当初2名見込んでいたが1名となってしまう</li> <li>・出品された作品の完成度の高さは昨年以上となった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は来場者数が昨年度を上まわった</li> <li>・団体が運営に積極的に関わってくれたことは、昨年度よりも協働の意識が芽生えたと感じる</li> <li>・お互いにするべきことを理解しあい、スムーズにことが運ぶようになっている</li> </ul>

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ・パンフレットの制作や広報への掲載や公共施設への掲示などPR活動について団体では限度がある部分で協力して行った</li> <li>・2回の実行委員会やその都度電話、直接的なやり取りを通じて十分なコミュニケーションは取れた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体には「ごま再発見」の本来の意味を十分に理解し、活動をしていただいたと考えている</li> </ul>

事業の進行管理	<p>進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初実行委員会会議は1度行う予定であったが、要綱に不備があり再作成を行い、急遽2度目の会議を行うなど柔軟に対応していただいた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の台紙に貼る作業では、会議室の確保が難しい中、調整していただき大勢の人数の参加をいただき、スムーズに準備作業が行われた</li> </ul>
対 等 な 関 係	<p>協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対等にできた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対等にできた</li> </ul>
相 互 理 解	<p>相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設へのPR活動などは市へお願いする一方で、写真店などへのPR活動などは団体が行った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備段階や写真の飾り付けなど我々では不得手な部分で率先して行っていただいた</li> </ul>

### 3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	<p>役割分担の内容を具体的に記入してください。</p>	
	<p>(団体の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協賛企業へのポスターや応募用紙の配布作業</li> <li>・写真審査事務</li> <li>・写真の台紙貼り</li> <li>・飾り付け</li> </ul>	<p>(市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設へのポスターや応募用紙の配布、広報への掲載</li> <li>・作品受付事務</li> <li>・消耗品の発注、在庫管理</li> <li>・表彰式事務</li> </ul>

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	・適正であった	・適正であった
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	・写真の審査員を当初2名予定していたが1名確保できなかった	・消耗品在庫が不足していたため当初見込み以上に発注した
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	・単独では広報活動や作品受付事務などに限界があった ・表彰式では市長や教育長に出席いただいた	・作品を台紙に貼る作業などは限られた人数では不可能であった ・作品の飾り付けや当日の片付けなどでもスムーズに行っていた

#### 4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	(団体の考え) ・今後とも市と協力し座間市の写真文化の普及に努めていきたい	(市の考え) ・作品数や出品者数にとらわれることなく、文化芸術の向上と「再発見」の感動を市民の方々に広く享受していただきたい